

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 18日

中施策事業名	市道等維持管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路、橋梁及び公共用物の占用、承認工事に関する事 ・道路及び公共用物の維持 修繕に関する事 ・定期及び春秋の土砂回収業務に関する事 ・橋梁の長寿命化計 画及び実施に関する事 ・道路等の草刈業務に関する事 ・道路等照明施設の維持 修繕に関する事 ・道路パトロールの実施並びに対応に関する事		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
路面調査による舗 装修繕進捗率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	90	100	25	50	75	100
	実績値	92	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				258, 500千円	248, 401千円	
	a 事業費合計			258, 500千円	248, 401千円	276, 332千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				8, 008千円	18, 262千円	34, 350千円
③ コスト (①－②)				250, 492千円	230, 139千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				3, 640 円	3, 344 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 老朽化した道路舗装を、長寿命化のため道路舗装修繕個別施設計画に基づき修繕を行った。また、橋梁長寿命化計画に基づき橋梁点検を実施した。道路等の草刈を実施することにより、車両等に視認性の確保をした。これらのこと及び、道路パトロールの実施することにより、道路の利用者が安全で安心に通行できる道路環境の整備を実施することができた。道路街路灯のLED化を行い、経費の削減、温室効果ガスの排出抑制が行われた。前後駅前広場においては利用者の安全、美観の確保のための設計及び工事の発注を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	立地適正化計画に掲げる居住誘導区域においては予防保全も視野に入れ、地域の魅力が高められるように努めるとともに、引き続き計画的に舗装修繕等の道路施設の点検、修繕を行っていく。市民のインフラへの愛着の醸成や事業者のビジネス支援、地域振興への参加機会となる命名権事業について、計画的な参加誘導を行い継続実施、実績を拡大させる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	インフラ施設のDX推進を検討し、業務の効率化、省人化、迅速化を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 8日

中施策事業名	交通安全施設管理・整備事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 交通安全施設要望の事務に関すること - 交通安全施設の維持補修に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
通学路安全プログラムによる交通安全施設整備実施率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	100	100				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				37, 151千円	30, 898千円	
	a 事業費合計			37, 151千円	30, 898千円	30, 494千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				5, 170千円	3, 575千円	3, 575千円
③ コスト (①－②)				31, 981千円	27, 323千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				465 円	397 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 通学路交通安全プログラムにより、道路管理者として必要な対策の実施をした。 各区より提出された交通安全施設工事要望書に基づき、対策の必要な個所において施設の設置等を行った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	通学路交通安全プログラムについては、確実な実施を継続的に行っていく。交通安全施設工事要望書においても、優先度・緊急性を考慮し必要な対策を行っていく	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	通学路交通安全プログラムの確実な運用を継続的に実施していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 23日

中施策事業名	道路新設改良事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安心して通行できるよう道路が整備管理されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関すること ・道路、橋梁工事の調査及び設計施工に関すること ・道路、橋梁工事の災害復旧に関すること ・社会資本総合整備計画（道路局）に関すること ・市町村土木補助事業に関すること ・特定交通安全施設等整備計画に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
区長要望工事の採択率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	35	35	50	50	50	35
	実績値	63	49				
単位	%						
管理者施工	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	4	4	4	4	4	4
	実績値	7	6				
単位	箇所						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				172, 485千円	172, 351千円	
人 件 費	a 事業費合計			172, 485千円	172, 351千円	173, 304千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				50, 532千円	32, 459千円	101, 140千円
③ コスト (①－②)				121, 953千円	139, 892千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 772 円	2, 033 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A R4年度から区長要望工事に充当する予算が5年間増額となった。区長要望工事をより採択できることが可能となった為、採択率や工事実施数が上昇傾向である。よって、車、歩行者が安全で安心して通行できる交通環境が実施できたことや、その他の区長要望工事を採択し実施することができた。コストについては、補助金充当率が低かった為上昇した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	管理者施工として、現在整備を実施中の地区に加えて、側溝等の老朽化が著しい地区について、施工後40年以上経過しており、早急な対応が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	整備計画に基づき、計画的に施工を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 8日

中施策事業名	街路樹管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	緑の多い生活環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	緑の多い生活環境となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 街路樹の維持管理に関すること ・ アダプトプログラムに関すること。		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
街路樹による要望等の件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	22	20	20	20	20	20
	実績値	35	22				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				39, 242千円	41, 325千円		
	a 事業費合計			39, 242千円	41, 325千円	40, 696千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			39, 242千円	41, 325千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			570 円	601 円			

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 街路樹の適正な管理に努めているが、目標値の達成にはならなかった。交通安全上の支障とならないよう剪定伐採等を実施した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	経年により巨大化した樹木、倒伏の恐れのある樹木、道路管理地外へ影響を及ぼす樹木については、引き続き都度点検し、適切に管理していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き都度点検し、適切に管理していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 23日

中施策事業名	農業環境保全事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	農地（勅使水系）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	広域的な活動による農地の保全管理		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 多面的機能支払事業		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
事業の達成率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	81	82	83	84	85	86
	実績値	81	82				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				6,849千円	6,676千円		
	a 事業費合計			6,849千円	6,676千円	6,700千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				5,007千円	4,877千円
③ コスト (①－②)				1,842千円	1,799千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				27 円	26 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 勅使水系環境保全の会における多面的機能支払交付金の活動がより効果的となるよう、定期的に役員会を開催し中間報告等を行い、効率的な活動を促進することで目標を達成することができた。R5年度も引き続き、対象地域の草刈りや水路の清掃、機能診断を行い、適切な保全管理を支援した。また、田んぼダムの試験施工に積極的に取り組んで頂き、流量調整板の材料比較結果等の有益な情報や成果を得ることができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	・毎年度の評価結果を踏まえ翌年度の活動内容を見直し、目標に向けた効率的な活動を推進する。 ・会員の一部町内会から退会希望の話が出ている為、保全の会で議論をして頂く必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	・農業農村地域に存する排水路等については、設置後30年以上経過しており老朽化等により施設破損が発生している。施設の機能が適正に維持、発揮できるようにするため、長寿命化対策の地区計画に基づき実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 11日

中施策事業名	総合治水対策事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備えて地域での準備を促す		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	総合治水対策事業を行うことで、水害に強い街を作り、市民の生命財産を守ることができる。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・雨水貯留施設の実施に関する事。県営事業の実施に関する事。田んぼダム治水対策事業の実施に関する事。		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
雨水貯留施設整備率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	60	65	70	75	85
	実績値	0	60				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				128, 783千円	33, 651千円	
	a 事業費合計			128, 783千円	33, 651千円	82, 793千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	2, 447千円	51, 957千円
③ コスト (①－②)				128, 783千円	31, 204千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 871 円	453 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A ・防災調整池治水対策事業の井堰川排水区は、対策箇所の見直しを行い大幅な事業費削減と事業期間の短縮となった。 ・県との調整が必要なため池の余水吐き改修については、引き続き調整を行っていく。 ・田んぼダム治水対策事業は、試験施工やシミュレーション結果より事業費の削減や優先地域の選定等の有益な情報を得ることができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	・防災調整池治水対策事業は試掘調査結果より、掘削範囲予定の一部でコンクリート殻やアスファルト殻の産業廃棄物が確認された。詳細設計で図面と数量計算書にその範囲を反映し、概算工事費に加味する。 ・（仮）中川地区湛水防除事業は、地元説明会より張りコンクリートの要望を受けた為、設計に反映する。 ・ロードマップの進捗管理については、市が主催しているイベント等で情報発信していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	・防災調整池治水対策事業 R7年度に補助金の有効活用する。そして、工事の早期着手と市民に事業の効果をより早く発揮する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 29日

中施策事業名	土地改良施設維持管理事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	外山 紀元
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業施設の長寿命化を図ることで、安定した農業基盤の基もと農業を営むことができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・農業土木工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関すること・排水機の維持管理に関すること・維持管理適正化事業に関すること・単県事業（工事発注、申請書作成）に関すること・土地改良施設（ため池、用排水路）の維持管理に関すること・農業取水施設等の他自治体との調整に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
維持管理施設整備率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	70	70	70	70	70	70
	実績値	70	70				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				133, 251千円	138, 735千円		
	a 事業費合計			133, 251千円	138, 735千円	225, 861千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				30, 780千円	6, 769千円
③ コスト (①－②)				102, 471千円	131, 966千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 489 円	1, 918 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 排水機場・用水路等の土地改良施設に対して、適切な時期に適切な内容で維持管理をすることにより、施設の長寿命化を図る事業である。これまで、補助金を活用し、ため池の改修等を行うことにより目標を達成できた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	・排水機場等監視操作事業 排水機場運転者の高齢化と担い手不足の為、排水機場を自動化し運転を管理委託することにより排水区域の湛水防除を維持する。大脇排水機場運転者の体調不良による早期委託発注が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	次年度以降も改善事項が継続できるよう関係機関と調整し事務を行う。 土地改良施設デジタル化事業 ・漏水箇所の早期把握や治水対策に有効である、ため池による事前放流の管理、ため池県営耐震事業による施設管理を行う。 ・膨大にある農業施設の適切な管理を計画的に行い、生産組合や水利組合等からの埋設管調査依頼の迅速な対応と効率化。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 下山除塵機設置事業	内容、理由、時期等 水路のサイフォン呑口全面にあるスクリーンに、除塵機を設置することにより、刈り草等に阻害されないよう適切な通水管理を行う為。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等